

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 春日井市立知多中学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】	スポーツを通じた共生社会の構築
2 実施対象者	1年生 187名	
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間・学活） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）	
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックを通してスポーツへの興味・関心を高めること。 ・パラスポーツの体験を通して、公平性を守るためのルールについて知り、共生にむけた意識を高めること。 ・障がいのある方の話を聴き、共生社会の実現に向けて必要な視点を養ったり、実際に身近な自分が住んでいる街の様子を調べて改善点を見つけ対処法を考えたりすること。さらに、共生社会に向けて身近な街でできる工夫を考えること。 	
5 取組内容	○ 「I'm POSSIBLE」を活用した学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック、パラリンピックの歴史や意義について ・ 公平性についての学習 ・ パラリンピアンのご日常生活からバリアフリーを考える学習 ・ パラリンピックレガシーについて 	



○ パラスポーツ体験

- ・ 「あすチャレ! School」 講師：神保康広氏

パラリンピックやパラスポーツの紹介、車椅子バスケットボールについて、神保氏が逆境をどのように乗り越えてきたのかという講話を通して、パラスポーツについての理解を深めるとともに、思ったら行動することや夢や目標を持つことの大切さを学んだ。



- ・ ボッチャ体験と共生を考えたルール作り

「I'm POSSIBLE」で障がいのある方が考える共生社会について学んだのち、実際にボッチャを体験した。体験を重ねる中で、単なる勝敗だけではなく、全ての人が楽しんで競技を行うにはどうしたらよいかという話題が出されるようになった。そこで、「どのような人でも楽しめるようなボッチャのルールをつくることできないか」と生徒に投げかけ、独自のルールづくりに取り組んだ。完成した独自のルールでのボッチャ大会は笑顔にあふれるものとなった。



<事後学習>

- ・ みんなが暮らしやすい街づくりプランを考える

まず、自分の街の共生社会に向けた取組や設備がどのようなものかを実地踏査やインターネット等で調べた。オリパラ教育を通して学んだことを生かして、春日井市が全ての人にとって暮らしやすい街となるようなプランを考え、プランを発表しあい、共生社会実現に向けての様々な工夫を共有した。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 「I'm POSSIBLE」や「あすチャレ! School」で座学や体験を交えた活動を行うことができた。あまり馴染みのなかったパラリンピックやパラスポーツに触れ、興味をもって取り組むことができた。 • 1学期に「I'm POSSIBLE」での学習を行った結果、東京パラリンピックに興味をもち、様々な種目をテレビ観戦したという多くの生徒の話聞くことができた。 • 「あすチャレ! School」でパラリンピアン体験や今後の人生で大切にしたいことを聞くことができた。生徒の心に深く刻み込まれる内容であった。 • 行った学習をもとに、共生社会の実現に向けた考えを深めることができた。また、身近な街の共生社会にも目を向けることができた。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 東京パラリンピックが開催される年だったということもあり、開催前の1学期にパラスポーツのことを重点的に扱い、興味をもった上で東京パラリンピックを迎えられるようにした。 • 本物に触れさせたいと考え、あすチャレ! Schoolを行った。 • 「I'm POSSIBLE」でパラリンピアンを学習し、自分の街に生かせるようなことがないか実地踏査を行わせた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 4月～9月という期間で予定を立てていたが、新型コロナウイルス感染症拡大で当初の予定と大幅にずれてしまった。例年行っている福祉体験との日程調整が難しかった。不測の事態に備え、計画に幅をもたせておく必要がある。 • 今年度は東京パラリンピックが開催される年だったので、生徒の関心も高く、意欲的に学習していたように感じる。来年度以降も生徒の関心を高めさせる工夫を考えたい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 1年生の総合的な学習のテーマが「多様性理解」のため、来年度以降も「I'm POSSIBLE」を活用した学習を進めていきたいと考えている。 • パラスポーツのなかでもボッチャの用具は市の体育館にて借用できるので大変手軽であるし、手作りでも可能である。この2年間で、全学年がボッチャを体験することができたので、全校でのボッチャ大会開催が可能となった。 • 今後はボッチャと共に他のパラスポーツにも触れる機会を増やしていきたい。